

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		オリンピック・パラリンピック生涯学習講座				所管	教育委員会 生涯学習課				
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	54	計画事業名	オリンピック・パラリンピック生涯学習講座		事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標] あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現 [施策] 9 生涯学習環境の整備				[事業開始] 平成 27 年度 [終了予定] 令和 2 年度					
	根拠法令等	その他	〔法令等名〕 なし								
	事業対象	直接の対象 : 区内在住、在勤または在学者 最終的な対象 : 同上									
	事業目的	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、オリンピック・パラリンピックの歴史や大会の楽しみ方、外国人観光客を迎えるために必要な語学・習慣や区の歴史・伝統や文化等の講座を全区域的かつ定期的に開催し、区内全域での気運醸成を図る									
	事業内容 [H30年度]	オリンピック・パラリンピックの歴史や、外国人観光客を迎えるために必要な語学・異文化理解、また、日本文化や台東区の歴史等の学習講座を年5講座実施。(開催館: 社会教育センター、小島社会教育館、千束社会教育館、今戸社会教育館、根岸社会教育館、日数: 41日、延受講者数564名)									
	委託の有無	全部委託	委託内容		オリンピック・パラリンピック生涯学習講座の実施(指定管理)						
補助金の有無	都										
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度				
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率		
	活動指標	生涯学習講座数	講座	5	5	5	5	5	100.0%		
	成果指標	生涯学習講座受講者数(延べ)	人	500	612	535	564	500	112.8%		
	決算額 (単位: 千円)				H28年度		H29年度		H30年度		
	事務事業コスト (単位: 千円)	人にかかるコスト (人件費など)					1,338		1,676	1,763	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)					1,549		1,400		1,400
		その他のコスト (扶助費・補助費など)					20		0		0
		総経費					2,907		3,076		3,163
	財源項目 (単位: 千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)					0		0		0
その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)					785		350		585		
一般財源 (区負担額)					2,122		2,726		2,578		
課題及び今後の進め方	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を翌年度に控え、更なる気運醸成を図るとともに、来街者へのおもてなしの力を高めるため、より実践的な講座を実施していく。										
評価の視点	評価	評価の理由									
	必要性	3	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を翌年に控え、区民一人ひとりが、おもてなしの心を持ち来街者を迎えられるよう、語学や異文化理解等の基礎知識を学ぶ必要がある。								
	効率性	3	社会教育施設の指定管理者と連携して実施しているため、そのノウハウを生かした講座を実施するなど効率性は高い。								
	手段の適切性	3	生涯学習ラーニングスクエアを担当する指定管理者と連携することで、民間業者と行政のそれぞれの資源を活かした講座を実施することができる。								
目的達成度	4	受講者数は昨年度を上回り目標値も達成している。翌年度の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて区民の関心も高くなり、おもてなしの意識が図られてきている。									
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性					
東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、区民の関心や外国人観光客へのおもてなしの意識が高まっている。今後も指定管理者と連携しながらそのノウハウを活かした学習を實踐し、さらなる気運醸成を図っていく。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			